

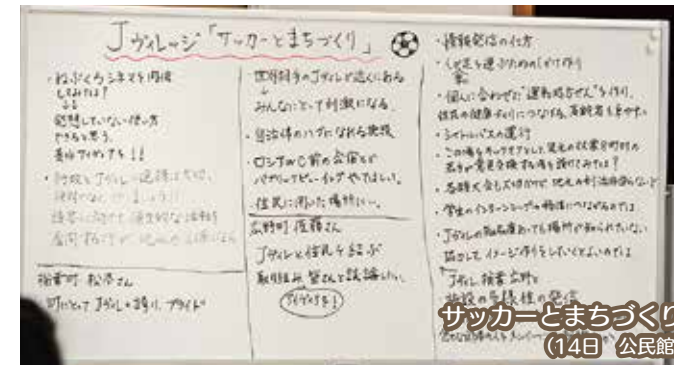
## 国際フォーラム「被災地からのメッセージ」

今年で4回目となる国際フォーラムは、「被災地からのメッセージ」～食べて、歌って、話し合う、ひろのいろいろ会議～と題して、被災地における風評被害の払拭や地域文化の再興、地域の魅力の再発見など、10月12日から10月15日までの4日間に、12のセッションと8つのサイドイベント、交流イベントを実施し、“食べる”、“歌う”、“話し合う”の各テーマに沿った視点から、さまざまな課題について話し合いました。

- 1) いまだ多くの避難者がいる一方で、津波による被災した沿岸部の復旧が進み、新たな道路や施設が開設されるなど、日常を取り戻しているかに見える。しかし、この地域は今後、数十年はかかると言われている原発の廃炉と向き合い、付き合っていく必要がある現実にも直面している。廃炉作業の行程の透明性と、住民との対話がなくては、地域を再生することはできない。今回も含め、不安を払拭する議論の継続を、地域の未来を切り開く土台としなければならない。
- 2) 第23回を迎えた「ひろの童謡まつり」と初めて同時開催し、本年に当町が受賞した「童謡文化賞」や来年迎える童謡誕生百年に華を添えた。東日本大震災と原子力災害から6年半が経過し、昨年の国際フォーラムでは、被災住民の「心の復興」が求められているとの課題が挙げられている。童謡は広野町が「とんぼのめかね」のふるさととして、長年継続して取り組んできた文化であり、童謡の持つ癒やしに、「心の復興」への大きな期待が寄せられる。
- 3) 2020年の東京オリンピックを見据えた中で、サッカーナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」の再オープンが行われようとしている。地域再生の起爆剤として大いに期待されている施設であるが、どのように再生を成し得ていくかが重大な関心となっている。地域からのニーズや施設の役割、目指すべき目標などをどこに置くか、「ふくしま」、「ふたば」の広域的な議論へ繋げるきっかけとなる話し合いができた。今後は、地域の活動と相互に連携する取り組みへと進めていきたい。
- 4) 風評被害の払拭は、地域が抱える大きな課題の一つである。テーマの“食べる”では、多くの来場者に地元食材を使用した「じゅうねうどん」を試食してもらった。実りの秋をむかえた田んぼでは、今まさにたわわに実った稲穂が頭をたれ、刈り取りを待っている。今年は、富岡町でも震災後初となる作付けが行われ、農家が喜びの声をあげた報道がなされている。被災地福島への関心が薄れていく中で、風評被害は根強く残ったままだ。地道で確実な一歩の積み重ねが、問題解決の近道である。私たちは、その歩みを止めなければならない。
- 5) 広野町は震災前の生活を取り戻すため、放射線影響から「いのちを守る」ことに細心の注意を払っている。一方で、2人に1人ががん患者となる今日、半減期が短く（短寿命）、β線やγ線と比べて細胞致死効果の強いα線を放射する核種を使った治療薬の有用性が確認されて、国際的開発が急速に進展している。今回、α線核種製造、ドラッグデリバリーシステム開発、自動化装置開発など、必要とされる技術の全体像が示された。我が国において関連する技術やヒトの集積地となり、世界をリードする短寿命α線内用療法開発拠点となることによって、広野町が「いのちを守る」活動を通じて、「人を活かし、未来をつくる町」として大きく復興する可能性を持っていることが示された。
- 6) 被災地から何を発信するか、外部からの視点で当地域を見てもらう取り組みは、国際フォーラム始まって以来の共通認識である。今年は、南相馬市と川内村、広野町が参加して、都会のクリエイターの卵たちによるPR動画を製作した。新しい魅力の発見や映像が持つ無限の可能性に驚きと感動を賞えた。また、ふたば未来学園高校が行っている演劇も、芸術鑑賞の観点から地域の課題や現状を発信し続けている。実際に被災地へ足を運んでもらい、体験し、ふれあう活動や取り組みが最も重要である。

以上の教訓から、被災地がそれぞれの自治体ごとにあっていた課題対応について、地域間での情報共有や広域的な連携を深め、一歩一歩確実に解決することが必要である。「被災地からのメッセージ」は、被災地の現状を知ってもらう重要な手段であることから、今後も適切に発信し続けなければならない。

平成29年10月15日  
国際フォーラム「被災地からのメッセージ」  
参加者一同



サッカーとまちづくり  
(14日 公民館)



第23回ひろの童謡まつり  
童謡のまちづくり実行委員会  
(14日 体育館)



広野中学生海外研修報告会  
～異文化体験を通して～  
(15日 公民館)



食品販売  
(14日 体育館付近)



われわれの復興とは何か？  
～6年半の経過から復興について考える～  
(15日 体育館)



短寿命α線核種を用いた  
新しい治療薬開発の現状と展望  
(15日 体育館)



ふたば未来学園演劇「あのひ、隠れたひ」  
(15日 公民館)



ふたば未来学園未来創造探究研究発表  
(15日 公民館)



「じゅうねうどん」試食会  
(15日 公民館)



ふたば未来学園による農業・商業実習販売  
(15日 公民館)